

### 第3回 番組審議会議事録

平成16年2月24日  
株式会社シーエス・ワンテン

○開催年月日 平成16年2月24日(火)

○開催場所 赤坂エクセルホテル東急

○番組審議委員長

野崎 茂

○番組審議委員

石田 則明

黒鉄 ヒロシ

戸張 捷

高木 美也子

藤田 興彦

元村 直樹

欠席委員 ばばこういち 下村 満子

○シーエス・ワンテン

別府 孝祐 (社長)

入江 武彦 (副社長)

西脇 博行 (編成局長)

高島 英雄 (技術局長)

○審議内容

1. 「テレ朝チャンネル開局について」・・・シーエス・ワンテンより説明
2. 「テレ朝チャンネルの編成内容について」・・・シーエス・ワンテンより説明
3. 審議 (テーマ: テレ朝チャンネルの番組内容)

○各委員発言要旨

アニメはかなり強力な内容となったが、韓国等での最近の実験的アニメなど外国のアニメも加える等新しいものを導入する事で活性化も考えたらいいのではないかな。

ドラえもんをレギュラー番組として編成して欲しい。

土曜ワイドでの内容は古いものが多く、一部で胸を出しているシーンもある。「母と子」をターゲットとしているならば注意が必要。

アニメは朝～深夜まで放送予定だがターゲットは子供なのか大人なのか。また、最近は子供の感性も変わってきているので、子供だけが対象ではなく30～40代のマニアもターゲットではないのかな。

ドラマは中途半端に古いドラマより、思い切ってかなり古いドラマを放送することを考えても良いのではないか。

メインターゲットは「母と子」とあるが、狙いの優先順位は母、子、母と子、のいずれにあるのか。

アニメのストーリー作成や作り方(制作過程)を見せるような番組があって良いのではないか。

低俗な内容のチャンネルもあるが、こちらは良質な癒し系のチャンネルとして良いと思う。

メインターゲットの「母と子」の「子供」の年齢層は低年齢層か。  
もう少し年齢層を広げて高めの年齢層も狙ってみたらどうか。例えば、BS朝日の地球伝説は良いと思う。

「テレ朝チャンネル」と名称変更したのは良いと思う。また、ターゲットを「母と子」に絞った事には敬意を表したい。

「テレ朝チャンネル」の内容がアニメとドラマだけでは「テレビ朝日」のイメージとは違う。  
「人生の楽園」等のテレビ朝日のコンテンツは出せないのか。

「母と子」がメインターゲットならば、子育てしている母親達の役に立つ情報を「テレ朝チャンネルインフォメーション」で出すのはいかが？

地上波の総合編成とは違うCSならでの思い切った編成にしたことは評価したい。

他のCS放送でのアニメとの違いは何か。

新チャンネルとして加入目標数は？

ベーシックパック入りの条件は？

次のステップで考えているコンテンツは？

纏めとして、今回の思い切った編成は評価したい。いろんな意見も出たのでこれを参考に今後を期待したい。